

新グッドジョブ運動の概要

1 新グッドジョブ運動とは

行革の一環として、職員一人ひとりが、各職場において、自主的に工夫・改善を行う組織風土の醸成をめざして取り組んでいる全庁運動。

全庁の職員（個人・グループ・所属）から事務改善等の取組を募集し、特に優秀と認められるものについて知事表彰を実施する。

なお、2010年度から開始したグッドジョブ運動が10年経過したことを契機として、2020年度に募集部門を再編するとともに「新グッドジョブ運動」と改称した。

<募集部門>

リードタイム縮減部門	自らの業務において実施した事務改善や、事業の実施・推進に当たり凝らした工夫によりリードタイム（業務処理・停滞時間）の縮減につながった取組。
カイゼン・働き方改革部門	リードタイムの縮減以外の成果（県民サービス向上、コスト削減、チームワーク向上、人材育成など）につながった取組や働き方改革の推進に資する取組。
アイデア提案部門	未実施であるが、今後の活用が見込めるアイデア提案（自らの業務以外での取組も提案可）。

※ 募集の内容は、仕事の質の4つの要素（①県民満足 ②効果・効率・合理性 ③職員能力・組織機能 ④職員意欲・職場雰囲気）を向上させる取組であること

2 応募状況

応募部門	2020	2021	2022	2023
リードタイム縮減部門	389	410	564	610
カイゼン・働き方改革部門	763	683	682	707
アイデア提案部門	187	251	308	333
合計	1,339	1,344	1,554	1,650

※2020年度から応募部門を変更

<参考> 2010年度から2019年度までの応募状況

応募部門	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
カイゼン・成果部門	312	396	532	619	806	834	862	1,127	1,117	1,130
チームワーク部門	80	36	62	68	78	91	101	131	109	106
アイデア提案部門	106	109	150	157	—	—	—	—	—	—
合計	498	541	744	844	884	925	963	1,258	1,226	1,236

※アイデア提案部門は2014年度にカイゼン・成果部門及びチームワーク部門に統合

3 表彰状況

応募部門	2020	2021	2022	2023
リードタイム縮減部門	3	2	3	3
カイゼン・働き方改革部門	2	3	1	4
アイデア提案部門	2	1	2	-
知事表彰件数	7	6	6	7

※2020年度から応募部門を変更

<参考> 2010年度から2019年度までの知事表彰件数

応募部門	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
カイゼン・成果部門	3	4	6	4	4	4	5	6	5	6
チームワーク部門	2	1	1	1	1	3	2	1	2	1
アイデア提案部門	0	1	0	0	-	-	-	-	-	-
知事表彰件数	5	6	7	5	5	7	7	7	7	7

※アイデア提案部門は2014年度にカイゼン・成果部門及びチームワーク部門に統合

<参考>2020年度から2022年度までの大賞・優秀賞の取組

2020年度

大賞：入力フォーム、二次元バーコードの活用による、セミナー業務の効率化・省力化（経済産業局あいち産業科学技術総合センター）

優秀賞：RPAの活用による愛知県民間児童福祉施設職員応援金の交付事務の迅速化（福祉局子育て支援課）

2021年度

大賞：リモートでの浄水場見学及び小学校におけるオンライン授業（企業庁知多浄水場）

優秀賞：ポルトガル語による納税相談のためのフローチャート（総務局豊田加茂県税事務所）

2022年度

大賞：愛知県庁インターンシップ申込手続き等の電子化（県民文化局学事振興課）

優秀賞：RPAを活用した物品管理用QRコードの自動作成及び管理方法の見直し（労働局名古屋高等技術専門校）